

# 華誠の知的財産権ニュースレター

2024年11月 第九十一期

## 目次

### 特許

国知局が2024年1~10月の特許統計を発表 ..... 2

### 商標

国知局、2024年1~10月の商標統計を発表 ..... 3

### その他の知的財産権

国知局、2024年1~10月の地理的表示と集積回路の配置設計統計データを発表 ..... 4

### 知的財産権

WIPO 中国：「世界知的財産権指標報告書」 | 2023年の世界特許出願件数が過去最高を記録 ..... 4



公式サイト：[www.watsonband.com](http://www.watsonband.com)

Eメール：[mailip@watsonband.com](mailto:mailip@watsonband.com) | [mail@watsonband.com](mailto:mail@watsonband.com)

## 特許

## 国知局が2024年1~10月の特許統計を発表

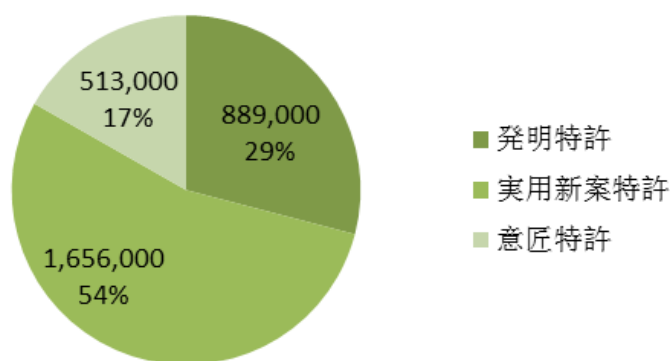
国家知的財産権局はこのほど、2024年1~10月の知的財産権主要統計データ速報を発表した。2023年1~10月と比較すると、発明特許の権利付与件数は前年同期比14.65%増加し、実用新案は前年同期比5.64%減少し、意匠は前年同期比4.06%減少した。

特許権付与量/個	発明特許	実用新案特許	意匠特許	合計
2023年1-10月	775,379	1,755,011	534,716	3,065,106
2024年1-10月	889,000	1,656,000	513,000	3,058,000
成長量	113,621	-99,011	-21,716	-7,106
成長率	14.65%	-5.64%	-4.06%	-0.23%

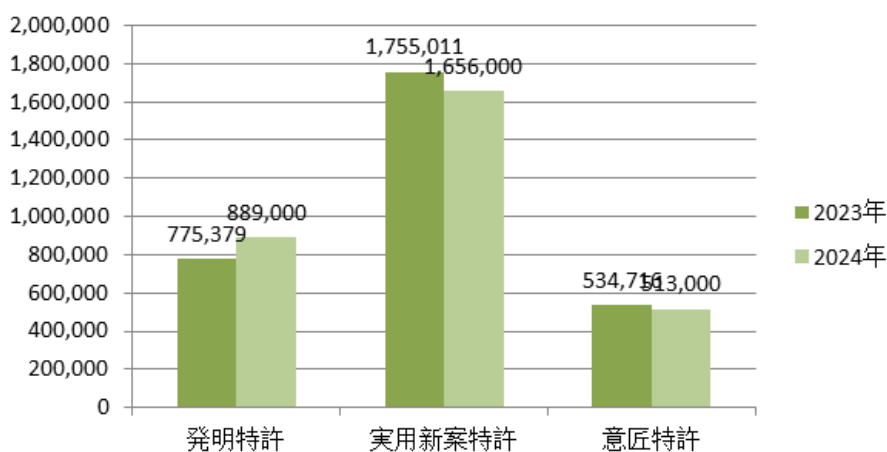
(2023年と2024年1~10月の同期データ比較)

2024年1~10月の我が国の発明特許の授権件数は88.9万件、実用新案特許の授権件数は165.6万件、意匠特許の授権件数は51.3万件である。

## 2024年1~10月の各種類の特許取得件数

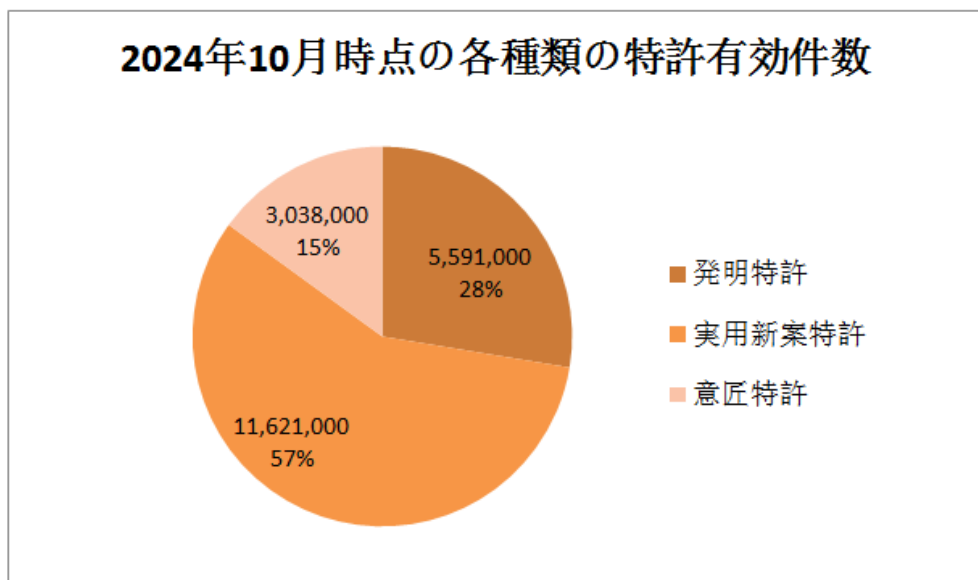


## 2023年と2024年1~10月の特許取得件数の同期比較



## 特許

2024年10月末時点で、我が国の発明特許の有効件数は559.1万件である。このうち、国内（香港・マカオ・台湾を除く）の発明特許の有効件数は458.6万件である。実用新案特許の有効件数は1162万1千件である。意匠特許の有効件数は303万8千件である。



1~10月、当局は5万9000件のPCT国際特許出願を受理した。このうち、国内申請者が5万5千件を提出した。

1月から10月にかけて、中国出願人は合計1,751件の意匠国際出願を提出し、公開された意匠国際出願は合計1,996件で中国を指定した。

国家知的財産権局 より

## 商標

### 国知局、2024年1~10月の商標統計を発表

国家知識産権局のウェブサイトはこのほど、2024年1~10月の商標統計データを発表した。

1~10月、我が国の商標出願件数は574.0万件である。商標登録件数は388.5万件。2024年10月現在、有効登録商標は4909万3千件。

1~10月、当局は中国出願人のマドリード商標国際登録出願5,827件を受け取った。

1~9月の商標データ比較（2023年と2024年）

（単位：件）

	年間累計登録	有効量	異議申請	却下の再審査を申請する	無効宣告を申請する	登録商標取消の再審査
2023年	3,586,149	48,896,540	92,200	249,393	53,016	13,440
2024年	3,138,311	45,122,422	82,750	222,558	52,274	15,980
変動量	447,838	3,774,118	9,450	26,835	742	-2,540
成長率	14.27%	8.36%	11.42%	12.06%	1.42%	-15.89%

国家知的財産権局 より

## その他の知的財産権

### 国知局、2024年1~10月の地理的表示と集積回路の配置設計統計データを発表

	地理的表示製品の承認	地理商標の集団商標、証明商標としての登録を認可する	地理的表示専用標識の使用を認可する市場主体
2024年1~10月	36	123	7,282
2024年10月時点累計	2,544	7,400	32,206

1-10月、我が国の集積回路配置設計登録出願は9,248件である。8,399件の証明書を発行しました。

国家知的財産権局 より

## 知的財産権

### WIPO 中国：「世界知的財産権指標報告書」 | 2023年の世界特許出願件数が過去最高を記録

世界知的所有権機関（財産権機関）《世界知的財産権指標》（WIPI）の年次報告によると、2023年の世界特許出願活動量はさらに記録を更新し、出願件数が初めて350万件を突破した。これはマクロ経済環境が試練に満ちているにもかかわらず、世界の特許出願件数は依然として4年連続で増加していることを示している。



画像のリソース：WIPO 中国

中国（164万件）、米国（518,364件）、日本（414,413件）、大韓民国（287,954件）、ドイツ（133,053件）は世界で最も特許出願件数の多い国である。インド（64,480件）の特許出願件数は15.7%増加し、1位上昇して6位となり、主にインド経済の急速な成長に支えられて住民の特許出願件数が大幅に増加したことに後押しされた。

インドはまた、WIPIの3つの主な知的財産権ランキングで初めてトップ10に入り、特許と工業製品の意匠出願件数は2018年から2023年までの間に2倍以上増加し、商標出願件数は60%増加した。

## 知的財産権

「不確定な経済環境に直面しても、知的財産権に対する需要は依然として増加している。そしてこのような需要はますますローライズされている。例えば、特許出願件数の増加は、外国のイノベーターではなく、主に国内の住民によって後押しされている。出願件数の増加に伴い、対応すべき課題は依然として品質の問題と知的財産権の出願を実際の製品とサービスに変える能力である。」

—財産権組織総幹事鄧鴻森

2023年には、世界の工業製品の意匠出願活動量 [1] も増加し、増加率は2.8%となり、152万項目の意匠に達し、そのうち上位20カ国のうち7カ国が2桁の増加を実現した。商標出願活動 [2] の総件数は1,523万種類で、2022年より2%減少したが、減少幅は前年よりはるかに小さい。

2023年には、アジア各庁の特許、商標、工業製品の意匠の出願活動は引き続き長期間の傾向を維持し、それぞれ全世界の出願の68.7%、66.7%、69%を占めた。アジア地域では、知的財産権の出願が非常に集中しており、中国、日本、大韓民国の主管庁は、昨年アジアの特許、商標、工業製品の意匠の出願活動でそれぞれ91.1%、77.0%、87.2%を占めた。

知的財産権出願件数 IP Right Applications	2022	2023	増加率 (%) , 2022-2023年 Growth (%) , 2022-2023
特許 Patents	3.46 million	3.55 million	+2.7
商標* Trademarks *	15.55 million	15.23 million	-2.0
工業製品の意匠 Industrial designs *	1.48 million	1.52 million	+2.8
植物の品種 Plant variety	27,260	29,070	+6.6

注：\*は、出願に含まれる商標の区分と意匠の数がグロスボーダーで比較できることを示している。一部の国では各区分又は意匠の各項目ごとに独立した出願を提出する必要があり、他の一部の国では1つの出願に複数の区分 / 意匠の複数の項目を含めることを認めているためである。

### 特許

WIPIによると、中国、大韓民国、米国、日本、インドの住民の特許出願件数が大幅に増加し、2023年の世界的成長の主な原動力となっている。

出願の出元の上位20位の国のうち、インド (+15.7%) で2023年の特許出願件数が最も増加し、5年連続で2桁の成長を実現した。インドは上位20位のうち唯一過去10年間で出願件数が毎年増加している国でもある。フィンランド (+11.2%) は、上位20位のうちインドを除いて2023年に2桁の成長を実現した唯一の国であり、住民の出願件数と海外出願件数のダブル成長がこの成長を後押しした原因である。

2023年の中国の出願人は約164万件の特許出願を提出し、国内と国外の司法管轄区域をカバーした。続いて、米国 (518,364件)、日本 (414,413件)、大韓民国 (287,954件)、ドイツ (133,053件) が追従した。出願の出元の上位5カ国から2023年に提出された特許出願件数はいずれも2022年より多く、そのうち大韓民国 (+5.7%) が最も成長し、次いで中国 (+3.6%)、米国 (+2.5%)、日本 (+2.2%)、ドイツ (+1.4%) となっている。

## 知的財産権

大韓民国を除く出願の出元の上位 5 カ国の全体的な成長は主に住民の出願件数の大幅な増加によるものである。大韓民国については、住民の出願件数と国外出願件数の増加が全体的な成長に貢献した。

2022 年（出願と公表の間にタイムラグがあるため、現時点では最近 1 年間の完全なデータしかない）には、コンピュータ技術が依然として世界で公表されている特許出願の中で最も出現頻度の高い技術となり、世界全体の 12.4% を占めた。続いて、電気機械（6.8%）、測量（5.9%）、医療技術（5.4%）、デジタル通信（5.3%）であった。上位 10 位の技術分野のうち、コンピュータ技術（+10.7%）は 2012 年から 2022 年の間に 2 桁の成長を実現した唯一の分野である。

太陽エネルギー、燃料電池、風力エネルギー、地熱エネルギー、水力エネルギーなどのエネルギー技術に関する既に公表されている特許出願件数は 2007 年の約 2.94 万件から 2022 年の約 4.47 万件に増加した。

### 商標

推計によると、2023 年には世界で 1,163 万件の商標出願が提出され、1,523 万の区分をカバーした。2023 年に出願で指定された区分の数は 2% 減少し、2009 年以来 2 年連続で減少した。

中国の出願人の出願活動量が最も多く、国内と海外の出願区分数の合計は約 740 万となった。次に、米国（849,876 区分）、ロシア連邦（543,692 区分）、インド（496,293 区分）、ドイツ（441,293 区分）の出願人であった。出願の出元の上位 5 位の国のうち、インド（+6.1%）とロシア連邦（+30.1%）は 2023 年の出願件数が増加し、中国（-3.4%）、ドイツ（-7.3%）、アメリカ（-10.1%）は減少した。インドの成長は住民の出願件数と国外出願件数の二重成長にが原動力となっており、またロシア連邦の全体的な成長は住民の出願件数の増加によるものである。ドイツとアメリカの全体的な低下は住民の出願件数と国外出願件数の両方の低下に起因し、中国の低下は住民の出願件数の低下によるものである。

2023 年の世界の出願件数の減少は、上位 20 カ国のうち 13 カ国の出願件数が減少し、そのうちスイス（-10.5%）、トルコ（-17.6%）、アメリカ（-10.1%）の 3 カ国の出願件数の下げ幅は 2 桁に達したことに起因する。対照的に、そのうち 7 つの出願元の国の商標出願件数は増加した。これにはインドネシア（+10%）、メキシコ（+11.1%）、ロシア連邦（+30.1%）の 2 桁の増加が含まれている。また、ブラジル（+8.5%）は 2023 年にも健全な成長を遂げた。ブラジルの成長は国内出願件数の増加によって完全に後押しされた。インドネシアとメキシコの国内と国外の出願件数の増加は住民の出願件数の増加を後押しした。

アジアは世界の商標出願件数の中で主導的な地位を占め、総件数の 66.7% を占め、10 年前、つまり 2013 年の 49% と比べて大幅に増加した。この傾向は同期の他の 5 つの地域の全体的な占有率を低下させた。2023 年、ヨーロッパは世界全体の 17.2% を占め、次いでラテンアメリカとカリブ海地域で 7.1%、北米で 5.8% を占めた。残りのシェアはアフリカ（1.9%）とオセアニア（1.3%）の間に分布している。

2023 年の研究と技術の分野は国外で商標の保護を求める出願人を最も多く惹きつけ、報告された世界の非居住者の商標出願件数の 20.1% を占めた。次いで衛生（13.7%）、被服とアクセサリ（12.4%）、レジャーと教育（10.1%）となった。そして、農業（10.1%）、商業サービス（9.7%）、家庭用機器（8.7%）がその後に続いた。対照的に、化学（3.1%）、建築（5.5%）、交通輸送（6.6%）に関連する業界は海外出願に占めるシェアが最も小さい。

推計によると、世界 155 の知的財産権官庁の有効商標登録件数は 8,820 万件で、2022 年に比べ 6.4% 増加した。2023 年の中国の有効商標登録件数は再び首位につけ、4,610 万件に達した。その後はインドとアメリカの主管庁で、有効登録件数はいずれも 320 万件近くとなった。



## 知的財産権

### 工業製品の意匠

2023年の世界の工業製品の意匠出願件数は約119万件で、その中には約152万項目の意匠が含まれており、2022年より2.8%増加した。

2023年の中国の出願人の意匠出願件数は882,807項目で、世界第一位につけた。次いで米国(69,076項目)、ドイツ(64,986項目)、イタリア(60,486項目)、大韓民国(60,120k項目)となった。この上位5カ国は2023年に全世界の活動量の約4分の3(74.6%)を占めた。主に中国の出願人の出願件数の急速な増加に後押しされ、出願元の国トップ5の合計シェアは過去10年間で3.6ポイント増加した。

出願元の国トップ5のうち、イタリア(+15.7%)は2023年の出願件数の増加が最も速く、中国(+5%)とアメリカ(+2.6%)が続いている。対照的に、ドイツ(-7.6%)と大韓民国(-3.4%)は低下した。イタリアの2桁の成長は住民の出願件数の急激な増加に後押しされ、アメリカの全体的な成長は国外出願件数の大幅な増加に後押しされた。

2023年の出願元のトップ20の国のうち13カ国の出願件数が増加し、そのうち7カ国の出願件数は2桁増加した。増幅率が最も大きかったのはインドネシア(+37.3%)、インド(+36.4%)、ロシア連邦(+31.6%)であった。

アジアは2023年の世界の意匠出願総件数の69%を占めた。そしてヨーロッパ(23.5%)と北米(4.5%)が続いた。2023年のアフリカとラテンアメリカ、カリブ及びオセアニアの合計シェアは3%となり、10年前の3.4%を下回った。2013年から2023年に北米(+5.3%)とアジア(+2%)の意匠の項目数はすべての地理的区域の中で平均増幅率が最も大きい地域となった。

2023年には世界で約610万件の有効な工業製品の外観が登録され、2022年より10.5%増加した。中国の有効登録件数は14.2%増の320万件となり、2023年の世界全体の半分以上(53.2%)を占めた。米国(424,718件)、大韓民国(414,117件)、欧州連合知的財産庁(EUIPO)(329,358件)と連合王国(309,554件)が続いた。

2023年の世界の総件数のうち最も大きな部門は織物と部品(17.3%)、家具と家庭用品(16.9%)、工具と機械(11%)、電力と照明(9.2%)及び情報通信技術と視聴(8.8%)であった。この5つの部門の合計は世界で登録されたカテゴリのうち総数の63.2%を占めている。

### 植物の品種

2023年には世界で約29,070件の植物の品種の出願が提出され、2022年より6.6%増加し、8年連続で成長を遂げた。中国の出願人は2023年に最も活発で、合計15,552件の植物の品種の出願を提出し、全世界の総件数の53.5%を占めた。中国の出願人に続いたのはオランダ(2,924件)、アメリカ(1,763件)、フランス(993件)、連合王国(939件)であった。

出願元のトップ5の国のうち、中国(+25.9%)は2023年に2桁の成長を実現した唯一の国となった。オランダ王国(+1.7%)は前年の急落の後、穏やかな成長へと回復した。対照的に、フランス(-14.9%)、連合王国(-43.3%)、アメリカ(-16.8%)は2023年の出願総件数が2022年より大幅に減少した。

## 知的財産権

### 地理的表示

86 の国と地域の主管庁からのデータによると、2023 年には 58,600 の地理的表示が保護を受けたと推算される。地理的表示は特定の地理的な出所を持ち、しかも当該産地に由来する品質又は評判がある製品に用いられる標章であり、例えば、チーズのグリュエール (Gruyère) や蒸留酒のテキーラ (Tequila) などに用いられる。

2023 年に中国 (9,785 件) は自国領土内で有効な地理的表示を最も多く有する国となり、次いでドイツ (7,586 件)、ハンガリー (7,290 件)、チェコ共和国 (6,657 件) となった。EU 諸国がこのような高いランキングを獲得した原因は、EU の地域体系によって有効となった 5,376 の地理的表示が各加盟国でみな有効となったためである。

「ワインと蒸留酒」に関する有効な地理的表示 (48.1%) は 2023 年の世界全体のほぼ半数を占め、農産物と食品は 44.8%、手芸品は 4.2% を占めている。

### 脚注

- 1 工業製品の意匠出願活動とは、工業製品の意匠出願に含まれる意匠の総項目数をいう。
- 2 商標出願活動とは、商標出願で指定する総区分数をいう。